

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

令和3年度川崎市防災訓練の実施結果について

資料 令和3年度川崎市防災訓練の実施結果について

令和4年3月11日

総務企画局

1 令和3年度川崎市防災訓練実施計画について

- (1) 令和3年度川崎市総合防災訓練（第42回九都県市合同防災訓練川崎市会場）
- (2) 各区の防災訓練
- (3) 主体ごとの訓練（市の訓練）

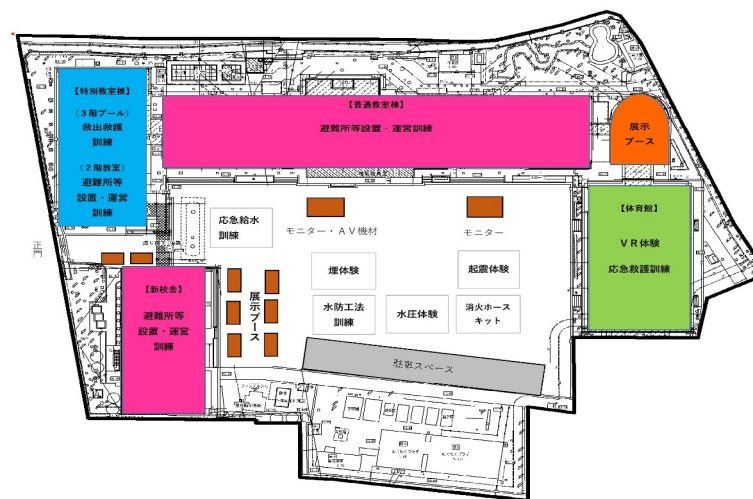
2 川崎市総合防災訓練の実施結果について

(1) 令和3年度川崎市総合防災訓練（第42回九都県市合同防災訓練川崎市会場）

ア 実施日時 令和３年１１月１４日（日） ９：００～１２：００
※避難所等設置・運営訓練は８：３０から実施

ウ 訓練参加機関 高津区自主防災組織連絡協議会、市及び関係防災機関等 約500人

工 訓練内容



令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

(イ) 避難所等設置・運営訓練及び情報受伝達訓練（高津小学校 8:30～11:30）

- ・区役所職員等による総合防災情報システムやB O S S（災害対応工程管理システム）を活用
- ・危機管理室がツアー形式により、地域住民等に対して避難所等本市の災害対応を説明
- ・参加者のご意見：コロナ禍の避難所の在り方を考える機会、教室の避難スペース活用の在り方



(ウ) 救出救護訓練（高津小学校 9:20～10:00 10:20～11:00）

- ・大型台風上陸前に線状降水帯も発生し、長時間の雨と重なって発生した内水氾濫を想定した消防による救出救護訓練
- ・昨年度、新たに配備した救命ボートやドライスーツ等を活用
- ・参加者の意見～消防の救出救助力の高さの再認識



(エ) 救援物資緊急輸送訓練（北部市場、高津区役所道路公園センター、高津小学校 9:10～11:30）

- ・首都直下型の大地震による国からのプッシュ型の救援物資について、広域物資拠点である北部市場から北部4区が指定した区輸送拠点を經由して、高津区では道路公園センターから高津小学校までの輸送・受け入れ実動訓練及び総合防災情報システムによる情報受伝達訓練
- ・実動訓練の救援物資の輸送プロセスをアナウンスすることで備蓄の重要性を啓発
- ・高津ジュニアハイスクール消防隊が道路公園センターから高津小学校までリヤカーで物資搬送
- ・参加者の意見～備蓄や地域ポテンシャルの必要性等実感



(オ) 展示・啓発（高津小学校、武蔵溝ノ口駅前南北自由通路 9:00～11:30）

- ・高津小学校グラウンドでは、7機関が参加
①川崎市社会福祉協議会 ②川崎建設協会高津区特設作業隊 ③高津防犯協会 ④川崎市男女共同参画センター
⑤溝の口減災ガールズ ⑥東京ガス(株) ⑦NTT東日本
- ・武蔵溝ノ口駅前南北自由通路では、5機関が参加
①株式会社総商 ②株式会社フロシャイム ③株式会社翠光トップライン ④高津区役所企画課 ⑤高津区役所衛生課

オ その他

事前研修（令和3年11月10日 15:00～17:00）

- ・目的：危機事象の基本的スタンス、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営の知識を習得することで区役所職員の災害対応能力の向上を図る。
- ・講師：危機管理監、高津区危機管理担当係長
- ・対象：避難所開設に係る区役所職員（24名）
- ・内容：・災害対応力の向上について「危機事象における基本的スタンス（考え方）」
・高津区における新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営について

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

(2) 各区の防災訓練

- ア 各区総合防災訓練の実施の内容及び可否について
 - ・ 自主防災組織及び開催地である学校など地域との事前調整により決定
- イ 新型コロナウイルス感染症の影響により変更になった点
 - ・ 規模を縮小して開催
 - ・ 場所変更やオンライン配信により開催

		日 時・場 所	目 的	内 容	成果及び反省点
川崎区	第1回	令和3年11月28日(日) 9時30分～11時30分 大島小学校	川崎市域直下型地震の発生及び大雨や台風 に備え、地域、行政、関係機関等が連携 を図り、発災後の迅速な初動対応、相互 の顔が見える体制づくりのため、実践的な 参加型訓練として実施することで、災害に 立ち向かう体制の構築や地域防災力の向上 を図る。	【訓練】 ①避難所開設訓練 ②備蓄倉庫の見学及び物 品紹介 ③初期消火訓練 ④放水訓練 ⑤煙体験 ⑥防災車両展示 ⑦火災予防啓発 ⑧心肺蘇生法訓練 ⑨応急救護訓練 ⑩土のう積み訓練 ⑪建物耐震対策啓発 ⑫災害時ごみ対策及び仮設トイレ対策の啓発 ⑬災害時口腔ケア講習	【成果】AEDを使用した心肺蘇生法訓練や三角巾を使用し た応急救護訓練等、各種訓練を体験していただいたことで、 日頃から備えることの大切さや災害時における行動等につ いての意識付けとなり、地域防災力の向上につながったもの と考える。また津波ハードマップ及び防災マップ川崎版等、 各種防災に関する資料の配布により、災害時における情報収 集方法等について提供することができた。 【反省点】コロナ禍における感染対策に注意を払いながら密 にならないよう参加人数を制限し訓練を実施したが、より多 くの方に参加いただき防災意識を高めてもらうことが必要な ため、引き続き参加手法等について検討する。
	第2回	【予定】 令和4年3月12日(土) 8時15分～11時00分 川中島中学校	川崎市域直下型地震の発生及び津波・大 雨・台風に伴い、地域、行政、関係機関等 が連携を図り、発災後の迅速な初動対応、 相互の顔が見える体制づくりのため、実践 的な参加型訓練として実施することで、区 民の災害対応力向上を図る。	【訓練】 ①津波避難訓練・津波減災講座 ②初期消火 訓練 ③放水訓練 ④地震体験及び煙体験 ⑤防災車両展示 ⑥火災予防啓発 ⑦心肺蘇 生法訓練 ⑧応急救護訓練 ⑨土のう積み訓 練 ⑩災害時ごみ対策及び仮設トイレ対策の 啓発 ⑪災害時口腔ケア講習 ⑫応急給水訓 練 ⑬災害時電源確保と感震ブレーカー普及 啓発 ⑭ガス防災対策普及啓発 ⑮災害ボラ ンティアセンター普及啓発 ⑯災害伝言ダイ ヤル啓発	—



初期消火訓練



応急救護訓練



土のう積み訓練



建物耐震対策啓発

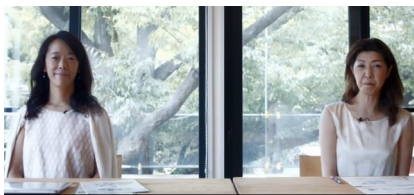
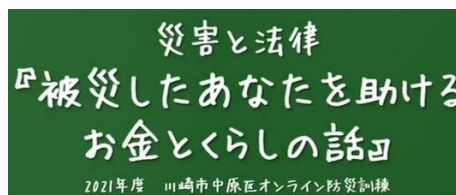


災害時ごみ対策

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日 時・場 所	目 的	内 容	成果及び反省点
幸区	第1回	【延期】 令和3年9月11日（土） 日吉中学校で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により延期	—	—	—
	第2回	令和4年3月に幸区役所会議室、町内会館等で分散開催（複数回実施予定） 御幸小学校で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により延期 実施場所を幸区役所等に変更して実施予定	令和元年東日本台風及び新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、川崎市直下型地震の発生に備え、自主防災組織、関係機関等が主体となり、行政と連携を図りながら、自助・共助の理念に基づく迅速な初動活動と災害応急対策を確立する。また、防災見本市として防災資器材等の出展を行い、地域の防災意識の高揚及び災害対応力の向上を図る。	【訓練】 震災発災時対応シミュレーション訓練 【動画配布】 各町内会自治会へ動画配布	【成果】 （訓練について） 震災発災時におけるシミュレーション訓練を実施することにより、個々の災害対応力の向上と町内会としての対応方針の再確認並びに避難所運営会議構成メンバーの意思疎通を行い地域防災力の向上を図ることを成果として実施する。 （動画配布について） 防災資器材購入補助金、町会応援補助金で購入可能な動画を編集し、各町内会自治会に配布することにより共助を高めることを成果として実施する。

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日 時・場 所	目 的	内 容	成果及び反省点
中原区	第1回	令和3年7月17日(土) 10時～ 中原区役所等 (オンライン配信)	新型コロナウイルス感染症が蔓延している中でも、いつ発生するか予測困難な災害に対して、感染対策を踏まえた新しい形で全区民を対象にした防災啓発を実施する。	【オンライン配信】 ①アウトドアグッズ活用(災害時に役立つグッズ紹介) ②マイタイムラインの作り方(風水害時の事前行動計画) ③備蓄食料クッキング(ポリ袋クッキング) ④防災講話(被災したあなたを助けるお金とくらしの話) その他防災関係機関が作成した啓発動画を区HPに掲載するとともに、ライブ配信の合間でCMとして紹介動画を配信した。 ライブ配信動画と啓発動画は当日視聴できなかった人のために区役所HPにアーカイブとして掲載し、いつでも視聴できるようにした。	【成果】 ライブ配信のみならず、区役所HPにアーカイブとして掲載することでライブ配信した内容は再生回数800超え、防災関係機関が作成した啓発動画と合わせると総再生回数18000回以上となるなど地区を限定せず、全区民を対象としたことで幅広く啓発を実施することができた。今後数年続く可能性のあるコロナ禍と在宅・リモート等が普及し社会環境の変化を踏まえ従来型の現地集合型からの脱却の一つの提案になった。 【反省点】 ライブ配信が予定より時間が伸びてしまった。配信内容が間延びし、テンポが悪くなったため、1時間以内に収まるよう管理すべきだった。
		《配信内容》  災害時に役立つグッズ紹介  マイタイムラインの作り方  備蓄食料クッキング (溝の口減災ガールズ)  防災講話 (被災したあなたを助けるお金とくらしの話)			
中原区	第2回	【中止】 令和3年9月12日(日) 9時～ 区本部・区内全避難所で実施予定であったが、緊急事態宣言発出中のため中止	令和元年東日本台風とコロナ禍を踏まえた各種マニュアル整備等が進められる中、新しい2つのシステムが導入されたことから、実践的な訓練機会を設けることにより、各担当者がシステムを効果的に運用ができるようにする。	【訓練】 ①緊急避難場所開設訓練 (区内29避難所同時開設) 運営主体の行政職員6名と避難所運営会議の方々協力して避難者受入準備から完了するまでを実施 ②区本部運用訓練 運営職員が各避難所の進捗管理や情報共有を実施 ③区役所専用スペース設営訓練 運営計画に基づく専用スペースの開設準備を実施	【成果】 訓練中止の補完措置として、各担当者が個別に学校訪問を実施し教職員との顔合わせや動線確認・物資確認・システム動作確認を実施したことで訓練実施と同等以上の効果が得られた。 【反省点】 オリンピックと選挙の日程を踏まえ消去法的な日程決定であったため、コロナ感染拡大第5波による緊急事態宣言発出期間と重なり中止となってしまったので、次年度以降開催する場合については、間隔を空けて予備日を設ける必要がある。

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日 時・場 所	目 的	内 容	成果及び反省点
高津区	第1回	令和3年11月14日(日) 9時00分～12時00分 高津小学校 武蔵溝の口駅前 南北自由通路 《川崎市総合防災訓練》	大型台風による風水害や首都直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図る。 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた風水害での避難所運営訓練や総合防災情報システム等を用いた情報受伝達訓練等を行うなかで、実際の発災時を想定した「より実践的」な総合防災訓練を目指す。	【訓練】 ①市民参加型訓練 ②避難所等設置・運営訓練及び情報受伝達訓練 ③救援物資緊急輸送訓練 ④救出救護訓練 【啓発】 ①訓練会場において協力団体による防災啓発ブースの設置 ②武蔵溝ノ口駅南北自由通路において防災協力事業所等による防災ブースの設置	【成果】 川崎市総合防災訓練との合同開催となり、コロナ禍であるため、人数制限はあったものの、多くの自主防災組織の方が参加し、一人ひとりが防災訓練を積極的に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営訓練や総合防災情報システムを用いた情報受伝達訓練、高津ジュニアハイスクール消防隊がリヤカーで救援物資を避難所まで搬送する輸送訓練など今までにない訓練も実施することができた。 【反省点】 市民参加型訓練やツアー形式の見学など、訓練会場をフル活用し参加者が多くの訓練を実施できるように試みたが、訓練終盤になると一通り訓練を終了してしまう参加者が散見されたため、今後は最後まで集中して訓練が行える手法や訓練内容の構築が必要である。
	第2回	【中止】 令和4年3月6日(日) 10時00分～12時00分 橘小学校で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止	防火・防災意識の啓発・高揚と、災害時における基礎的な技術の習得を目指し、地域住民が参加した実践的な訓練を実施する。 また、実際に訓練参加者が、各町内会・自治会で行う実践的な訓練を実施する一助とし、地域への防災意識の広がりを目指す。	【訓練】 ①避難誘導参集訓練 ②応急救護訓練 ③仮設トイレ組立て訓練 ④消火訓練・放水訓練 ⑤起震体験及び煙体験 ⑥土のう作成及び水防工法訓練 ⑦応急給水訓練 ⑧避難所用物品を含めた備蓄倉庫内の物品紹介	—



市民参加型訓練



避難所等設置・運営訓練



情報受伝達訓練



救援物資緊急輸送訓練



救出救護訓練

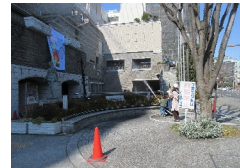


武蔵溝ノ口駅南北自由通路において防災協力事業所等による防災ブース

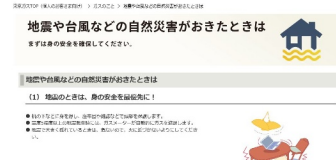
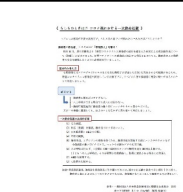
令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

	日 時・場 所	目 的	内 容	成果及び反省点
宮前区	令和3年11月14日(日) 9時00分～12時00分 宮崎中学校	区民一人ひとりの防災意識と防災スキルを向上させ、災害時における地域防災力を高めるため、広く防災に関する訓練や、啓発を行うと共に、地域で活動する多様な分野の団体の連携を促し、誰ひとり取り残されることがない地域防災を構築する。	【演習】 ①火災の恐ろしさ実演 ②航空機による偵察訓練 【訓練】 ①避難所開設訓練 ②市街地火災延焼防止訓練 ③初期消火訓練 ④火災避難訓練 ⑤リフティング訓練・倒壊重量物排除訓練 ⑥地震体験(防災指導公社) ⑦応急給水訓練 ⑧応急救護訓練 ⑨集合住宅上階からの負傷者の救出訓練 ⑩ガラス踏み訓練 ⑪土嚢積み訓練 ⑫支援物資輸送訓練 ⑬生きるために必要なスキルを学ぶトレッキング 【啓発】 ①宮前消防団の広報・啓発 ②net119の広報・啓発 ③防災啓発 ④マンホールトイレ展示・実演 ⑤防災啓発(東京電力、N T T 東日本、川崎市男女共同参画センター、宮前区薬剤師会、地域みまもり支援センター)	【成果】 ①総合防災訓練を実施するにあたって、避難所開設訓練を複数回実施したことで、震災発生時における地域の避難所開設能力を格段に高めることができた。 ②防災に携る地域の事業者や団体による防災啓発を実施し、地域住民の防災意識や防災に関する知識の向上を図ることができた。 ③訓練会場に手話通訳者等を配置したことで、多様な主体による共助の概念を広く知らしめたとともに、聴覚障害者が手話通訳者を介して消防局のNET119システムへ登録するなど、具体的な結果を残すことができた。 ④避難所開設キットの活動指示書や避難所備品等の取り扱い説明書を区HPに掲載し、日常的に防災に携れる環境を整備した。 【反省点】 ①コロナ禍ということで広報範囲を狭めて実施した結果、来場者が350人と少なかった。感染予防対策を充実しつつ、訓練規模に値する効果を見込めるような策を考察する必要がある。
	 手話通訳の実施  リフティング訓練 倒壊重量物排除訓練  防災啓発ブース  避難所開設訓練(奥側) 応急救護訓練(手前)			
宮前区	令和3年12月19日(土) 9時00分～12時00分 平中学校	区民一人ひとりの防災意識と防災スキルを向上させ、災害時における地域防災力を高めるため、広く防災に関する訓練や、啓発を行うと共に、地域で活動する多様な分野の団体の連携を促し、誰ひとり取り残されることがない地域防災を構築する。	【演習】 ①火災の恐ろしさ実演 ②航空機による救出・救助訓練 【訓練】 ①避難所開設訓練 ②市街地火災延焼防止訓練 ③初期消火訓練 ④火災の恐ろしさ実演 ⑤リフティング訓練・倒壊重量物排除訓練 ⑥地震体験 ⑦応急給水訓練 ⑧応急救護訓練 ⑨集合住宅上階からの負傷者の救出訓練 ⑩ガラス踏み訓練 ⑪土嚢積み訓練 ⑫生きるために必要なスキルを学ぶトレッキング(寒川：10組限定) 【啓発】 ①宮前消防団の広報・啓発 ②net119の広報・啓発 ③防災啓発(宮前警察、東京ガス、東京電力、N T T 東日本、川崎市男女共同参画センター、宮前区薬剤師会、地域みまもり支援センター)	【成果】 ①総合防災訓練を実施するにあたって、避難所開設訓練を複数回実施したことで、震災発生時における地域の避難所開設能力を格段に高めることができた。 ②防災に携る地域の事業者や団体による防災啓発を実施し、地域住民の防災意識や防災に関する知識の向上を図ることができた。 ③訓練会場に手話通訳者等を配置したことで、多様な主体による共助の概念を広く知らしめたとともに、聴覚障害者が手話通訳者を介して消防局のNET119システムへ登録するなど、具体的な結果を残すことができた。 ④避難所開設キットの活動指示書や避難所備品等の取り扱い説明書を区HPに掲載し、日常的に防災に携れる環境を整備した。 【反省点】 ①コロナ禍ということで広報範囲を狭めて実施した結果、来場者が320人と少なかった。感染予防対策を充実しつつ、訓練規模に値する効果を見込めるような策を考察する必要がある。
	 航空機による救出・救助訓練  中学生も参加した 避難所開設訓練  火災の恐ろしさ実演  生きるために必要な スキルを学ぶトレッキング			

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日 時・場 所	目 的	内 容	成果及び反省点
多摩区	第 1 回	【延期】 南生田小学校・来年度に延期 南生田小学校で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により延期	—	—	—
	第 2 回	令和4年2月27日（日） 多摩区役所1階アトリウム及び敷地内 長尾小学校で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により延期 実施場所を多摩区役所に変更して実施	令和元年東日本台風や感染症対策を踏まえ、首都直下型地震や大型台風などに備えるための各種訓練を実施し、地域防災力の向上を図る。 具体的な訓練として、「風水害VR体験」、「仕切り板蹴破り体験」等を導入し、実際の避難行動をする際の躊躇に気付き、今後の避難行動に資すること。 また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、協力機関・団体や自主防災組織など、参加者を限定して開催するため、当訓練内容を、自主防災組織を通じて地域住民へ普及啓発すること。	【訓練】 ①風水害VR体験 ②マンションベランダ等避難路に設置される仕切り板蹴破り体験 ③消火ホースキットによる放水訓練 ④応急給水体験 ⑤地震体験車 【啓発】 ①災害時の電気ガスの対応方法 ②仮設トイレの組立方法 ③電気自動車の展示及びバルーンライトを使用している電力供給の実演 【消防訓練展示】 消防救助隊員による庁舎からの降下訓練	【成果】 コロナ禍での開催であったため、各自主防災組織及び防災協力事業所のみでの参加依頼であり、また、まん延防止等重点措置の延長により会場の出店ブースも縮小しての開催であった。多くの参加者が全てのブースを回っていただき、できる範囲で最大限の防災啓発を行うことができた。また、風水害VR体験やマンションのベランダ等に設置されている仕切り板の蹴破り体験は、ほとんどの方が初めての体験であり、有事の際には躊躇することなく避難行動をとることの重要性に気付いていただく効果的な体験を実施できた。 【反省点】 予定していた小学校での訓練が新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、急速、多摩区役所での開催となり、会場スペースが限られていることから、コロナ禍においては、来場者数に限界があった。今後は、小中学校での実施を基本としつつも、早い時期から小中学校以外での実施場所も検討していく必要がある。
		 風水害VR体験  マンションベランダ等避難路に設置される仕切り板蹴破り体験  消火ホースキットによる放水訓練  応急給水体験  消防救助隊員による庁舎からの降下訓練			

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日 時・場 所	目 的	内 容	成果及び反省点		
麻生区	第 1 回	令和 3 年 9 月 4 日（土） 8 時から 9 月 1 8 日（土） 2 1 時まで 麻生区役所HP 金程小・中学校で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止 オンライン配信に変更して実施	コロナ禍においても災害発生の可能性はあり、常に防災について意識することが重要であることから、市民がいつでもどこでも防災に触れることができるWEB上での防災訓練を開催し、継続した防災啓発を推進し、誰ひとり取り残されない地域防災を構築する。	【オンライン配信】 【初動】（自身の身や地域を守る行動に関する内容） ①消防の活動 ②消火器の使い方を覚えよう ③消火ホースキットってどんなもの？ ④NET119 ⑤110番アプリシステム ⑥ファックス110 【助け合い】（地域での助け合いで被害を軽減させよう） ①ゴミ袋で雨がっぱ作り ②「備えていますか？ ペットの災害対策」 ③ちいきのちからシートで地域力分析 ④コロナ禍の一次救命処置 ⑤防災紙芝居 【避難所運営】（避難所運営や避難生活に役立つ情報） ①災害伝言ダイヤル171、Web113 ②応急給水拠点、内水ハザードマップ ③災害時のトイレの使い方 ④災害時のごみのこと 【自宅避難】（自宅での避難生活に役立つ情報） ①災害時に役立つ段ボールコンポスト ②防災かまどベンチ ③メタルマッチで火起こし ④東京電力の防災対策 ⑤防災食レシピ ⑥わが家の防災ハンドブック ⑦マイコンメータ復帰操作 ⑧キッズ防災 ⑨日々のごはんともしものごはん	【成果】 ①オンライン形式を採用したことにより、多くの団体からコンテンツを提供いただいたことで様々な防災に関する情報を区ホームページにアップすることができ、誰もが必要ときに情報を得ることが可能となった。 ②区内自主防災組織に参加している個人の方から「防災紙芝居」の動画提供があり、こうしたそれぞれの立場からの防災啓発コンテンツが作成展開されることで防災意識の向上につながると考えられる。 【反省点】 防災力向上においてオンライン形式でコンテンツを閲覧することだけでは実際の動きを体験することができないため、合わせて実践的訓練を行っていく必要があると考える。		
		 東京ガス（株）による防災対策	 東京電力パワーグリッド（株）による防災対策	 消火器の使い方 （総務省消防庁）	 コロナ禍における救命処置 （日本赤十字）	 ペットの防災対策 （川崎市）	 防災紙芝居（阿部和則氏）
	第 2 回	令和 3 年 1 2 月 4 日（土） 9 時 2 0 分から 1 2 時 0 0 分 王禅寺中央小・中学校	地域防災の要である自主防災組織の活動能力向上を目指した実践的訓練を実施するとともに、防災に関する身近なテーマについての講座や区民防災塾等を通して啓発を行い、地域防災力の向上を図る。	【訓練】対象：自主防災組織 ①初期消火訓練（消火器・消火ホースキット）…消防署 ②救出訓練（重量物排除・搬送法）…警察署・自衛隊 ③応急救護訓練（救急法）…日本赤十字 【講座】対象：自主防災組織・区民 ①マンション防災…市民防災研究所 ②感染症対策…麻生区役所 ③都市ガスの防災・安全対策…東京ガス 【啓発】対象：自主防災組織・区民 ①アウトドアグッズ展示・紹介…TRUNK ZERO ②キャンピングカー…横浜トヨペット ③区民防災塾「災害時に生きぬくためのスキルを身に付ける」…アウトドアライフアドバイザー 寒川 一氏 ④ペット同行避難・備蓄食レシピ…衛生課・地域支援課	【成果】 ①実技訓練には25の自主防災組織から179名が参加し、町会単位での各種訓練のほか、来場者が個人で参加できる訓練等を通して自助、共助の意識の醸成につなげることができたと考える。 ②3講座には約260名が参加、特にマンション防災についてはアンケートでも参考になったとの声が寄せられた。また、約700名の訓練参加者があり、多くの方に様々な防災情報を提供することができた。 【反省点】 今回は自主防災組織中心の訓練としたが、一般参加者も実技訓練に参加できる訓練メニューを検討する。		
	 参加者全員によるシェイクアウト訓練	 自主防災組織による消火ホースキットを活用した初期消火訓練	 消防局航空隊による救助訓練	 自主防災組織による重量物からの救出訓練	 市民防災研究所によるマンション防災講座	 アウトドアライフアドバイザーによる区民防災塾	

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

(3) 主体ごとの訓練（市の訓練）

ア 市災害対策本部訓練等

(ア) 緊急参集訓練 令和3年5月22日（土）

市内震度6弱の地震が土曜日の8時58分に発生。事前に日時の予告なく、メールにて災害対策本部員に通知。第1回災害対策本部会議を11時から開始し、各局区長から被害や対応等の報告を受ける。

災害対策本部には本部員又は代理者が参加したが、第1回災害対策本部会議に間に合わない局区長の中には、通信状況を確認して、居住地に近い区役所にてテレビ会議により参加することを試みた。

最寄りの区役所からテレビ会議での参加者 5名
代理者が参加（第3庁舎災害対策本部室） 8名

《事前準備》 年度当初に短期間で各局区の職員参集状況等の把握、危機管理監による関係局区長等との懇談を踏まえ、定例局長会議等で訓練の趣旨等を周知

《課題》 本部員へのメールや携帯電話の不通等、連絡が取れない場合の参集について再確認が必要

(イ) 情報処理訓練 令和3年12月27日（月）

大型台風が接近する想定のもと、総合防災情報システムやBOSS（災害対応工程管理システム）を活用し、市本部、区本部、避難所間の情報処理訓練を危機管理室、区役所で実施

参加者には事前に災害情報は与えず、システムにて状況付与を行った。

《事前準備》 参加者には事前に訓練趣旨、日程、参加意向等を確認したうえで、訓練企画、システム活用方法等検討、各区連絡体制の確認等を行い、事前にシステム通信試験を行ったうえで訓練を実施

《課題》 総合防災情報システムの情報過多によるシステム障害
⇒連絡機能において、送信先を全箇所にし、多数の人が一斉に送信すると通信障害を起こすことが判明
対応策としては、送信先を指定するなどの運用によって、障害を回避

イ 広域連携訓練

第11回九都県市合同・図上訓練 令和4年1月19日（水）

首都直下型地震発災18時間後以降を想定した全庁的な訓練として、本部事務局・各局区部本部及び災害対策本部会議訓練を実施。本部会議訓練は、他都市への受援に関して、関係局長のみを本部室に参集して実施。その他の局区長はWeb会議にて参加。

《事前準備》 訓練参加者には、事前に訓練概要、発災18時間後の災害フェーズの認識を合わせたうえで訓練実施

《課題》 総合防災情報システムを活用した本部事務局の災害対応における優先順位の判断



令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

参考資料

各局における訓練

※ 対象とする訓練は、「地域住民や企業、団体と連携した防災訓練」または、「国、県及び他の行政機関と連携した防災訓練」

部局課名	訓練名	主催者及び共催者	実施日	参加人数
環境局	パンカー火災訓練回転破砕機・剪断破砕機火災訓練	粗大ごみ処理施設関係者	令和3年6月30日	22
環境局	特殊焼却棟火災訓練	浮島共同防災協議会	令和3年12月9日	21
健康福祉局	災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム情報伝達訓練	川崎市 川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会 川崎市老人福祉施設事業協会 川崎市介護老人保健福祉連絡協議会 川崎市障害福祉施設事業協会	令和3年9月2日	222
健康福祉局	電気自動車を活用した災害時の電力確保に派遣実証訓練	川崎市 三菱自動車 東日本三菱販売 国土交通省	令和3年11月26日	63
健康福祉局	災害時病院連携訓練	川崎市	令和3年12月12日	261
健康福祉局	災害時病院連携訓練	川崎市	令和4年2月20日	40
健康福祉局	災害時用防災無線通信訓練【予定】	高齢者事業推進課	令和4年3月15日	142
健康福祉局	2次避難所（福祉避難所）開設訓練	健康福祉局総合リハビリテーション推進センター、総務・判定課、企画・連携推進課、南部地域支援室、総合研修センター（川崎市社会福祉協議会）	令和3年11月11日	20
健康福祉局	2次避難所（福祉避難所）開設訓練（中部）	中部地域支援室 中部在宅支援室 中部日中活動センター 中部地域生活支援センターはるかぜ	令和3年7月16日	62
健康福祉局	2次避難所（福祉避難所）開設訓練（中部）	中部地域支援室 中部在宅支援室 中部日中活動センター 中部地域生活支援センターはるかぜ	令和3年11月8日	63
健康福祉局	2次避難所（福祉避難所）開設訓練（北部）	北部地域支援室	令和3年9月6日	13
健康福祉局	2次避難所（福祉避難所）開設訓練（北部）	北部地域支援室	令和3年12月28日	13
健康福祉局	動物救援本部立上げ訓練	健康福祉局生活衛生課 公益社団法人川崎市獣医師会	令和3年12月14日	29

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

参考資料

各局における訓練

部局課名	訓練名	主催者及び共催者	実施日	参加人数
こども未来局	児童福祉施設災害時情報伝達訓練	川崎市 独立行政法人福祉医療機構	令和3年7月9日	36
こども未来局	防災無線伝達訓練【予定】	川崎市	令和4年3月予定	4
建設緑政局	令和3年度建設緑政事業風水害図上シミュレーション訓練	建設緑政局各区道路公園センター	令和3年10月19日	36
港湾局	川崎港連絡協議会(BCP)情報伝達訓練	川崎港連絡協議会 (国土交通省関東地方整備局事務局)	令和3年9月6日 令和3年10月18日	24
港湾局	令和3年度首都直下地震防災訓練（実動訓練）	国土交通省関東地方整備局	令和3年11月5日	100
港湾局	首都直下地震を想定した東京湾臨海部基幹的防災拠点（東扇島） における管理運営訓練及びヘリコプター夜間離着陸訓練	国土交通省関東地方整備局	令和4年2月3日	38
港湾局	川崎港検疫感染症措置訓練（患者搬送訓練）	東京検疫所川崎検疫所支所	令和4年1月19日	30
臨海部 国際戦略本部	臨海部国際戦略本部図上訓練【予定】	臨海部国際戦略本部 川崎生命科学 環境研究センター 防災センター	令和4年3月予定	13
上下水道局	日本水道協会関東地方支部応援要請等情報伝達訓練	日本水道協会関東地方支部	令和4年1月14日	関東地方支部 内事業体
上下水道局	日本水道協会神奈川県支部災害対策情報伝達訓練	日本水道協会神奈川県支部	令和3年7月13日	21
上下水道局	19大都市情報伝達訓練	大都市水道局大規模災害対策検討会 札幌市水道局ほか18都市	令和3年4月27日	40
上下水道局	東京・川崎登戸連絡管水相互融通訓練	上下水道局 東京都水道局	令和3年10月15日	30
上下水道局	東京・川崎町田連絡管水相互融通訓練	東京都水道局 上下水道局	令和3年11月11日	30
上下水道局	札幌市・川崎市合同防災訓練	上下水道局 札幌市水道局	令和3年11月17日 ～19日	20
上下水道局	簡易情報連絡訓練	災害時支援大都市連絡会議	令和3年4月2日	21大都市 +国土交通省
上下水道局	簡易情報連絡訓練	災害時支援大都市連絡会議	令和3年5月24日	21大都市 +国土交通省

令和3年度 川崎市防災訓練の実施結果について

参考資料

各局における訓練

部局課名	訓練名	主催者及び共催者	実施日	参加人数
上下水道局	災害時支援関東ブロック情報連絡訓練	災害時支援関東ブロック連絡会議	令和3年7月21日	関東ブロック 構成員
上下水道局	同時被災情報連絡訓練	災害時支援大都市連絡会議	令和3年10月27日	21大都市 +国土交通省
上下水道局	令和3年度 等々力緑地図上訓練（浸水対策）	上下水道局施設保全課 中原区役所、建設緑政局、市民文化局	令和3年5月20日	16
上下水道局	令和3年度 等々力緑地実地訓練（浸水対策）	上下水道局施設保全課 中原区役所、建設緑政局、市民文化局	令和3年6月14日	48
病院局	令和3年度災害時病院連携訓練	健康福祉局保健医療政策室	令和3年12月12日	35
病院局	令和3年度首都直下型地震防災訓練	国土交通省	令和3年11月5日	5
病院局	令和3年度神奈川県と医療機関の災害時医療情報伝達訓練	神奈川県	令和3年11月15日 ～19日	5
病院局	令和3年度津波防災の日に係る情報受伝達訓練	神奈川県	令和3年11月17日	2
消防局	東京湾臨海部基幹的広域防災拠点にかかる応急復旧及び緊急物資輸送訓練	国土交通省	令和3年11月5日	500
消防局	第42回九都県市合同防災訓練（令和3年度横浜市総合防災訓練）	横浜市	令和3年11月7日	1,000
消防局	神奈川県高圧ガス 地震防災緊急措置訓練	神奈川県及び消防局	令和3年11月24日	200
教育委員会	スクールバス防災訓練	田島支援学校 三陽自動車株式会社	令和3年12月24日	99